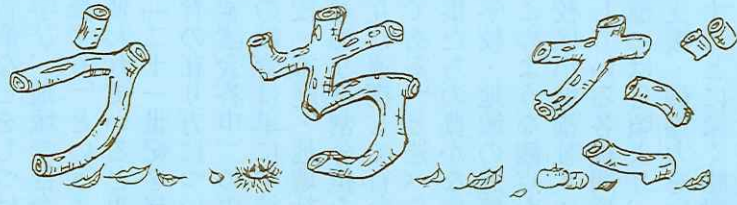


みんなで創ろう 安心した街づくり



発行：内田小学校区小域福祉ネットワーク

「向こう三軒両隣(近所)の仕組み」 について紹介します

内田小学校区小域福祉ネットワーク
会長 小出 完爾

一、設けることとした理由

- (一) 平常時の独居高齢世帯への見守り体制は整っているものの、災害発生時の対応には、何んらの準備もしていないこと。
- (二) 昨今巨大地震への恐れや、経験的概念では図り知れないほどの豪雨が、現実味をおびて来ていること。

二、ねらい

- (一) 近所という小さな拘りの中から生れた絆を、支え合いの形として捉え、これを基に安否確認の仕組みを作ることとしたこと。
- (二) そしてこの事業の名称を、絆の別の表意とも云える「向こう三軒両隣」とし、これに「仕組み」を備えることで、その主旨を明らかにした。
- (三) 内田地区の町会員のその全ての安否を、この小さな単位の絆の働きを基に積み上げた結果は、綿密なものと考えていることにあります。つまり地区の人々の安否を、多くの確認者によって一斉に把握し、すみやかに内田の様子として報告し、次の事に取り組みうとするものであります。

三、課題

この仕組みを進めていく上では、常に課題を感じますが、なかでも平時では「その通り」と納得できるようなことが、ここでは課題につながります。

- (一) それは、来ないかも知れない災害などに、真剣にはなれないという一般論。
- (二) 人は災害ともなれば「仕組み」など無くても、人は人を救うことは当然だとする本質論。
- (三) 平穩のもとで考えると「近所」という人間関係には、利害があったり、反りが合わないとか、好きだとか嫌いだとか、があり、したがってここを根拠とした仕組みは、うまく行かないとする、理由ありの話。
- (四) 始めて見て判ったことですが、内田地区も高齢地区で、七十五歳以上

四、推進

- (一) 安否確認や避難などに関する準備活動は、町会を挙げて取組むことで、理解も進むという効果も得られます。この「仕組み」は、各戸への調査や、一時(いつとき)避難所への経路や、機能への見直しなど毎年確認しなければならぬものが、多くあります。町会内へ協力体制を設けるなど、充実したものにしていただきたいと思います。
- (二) 「近所」の支障については、例えば、利害関係については、調整を行うその時までは一切持ち出さないと

か、反りが合わないところについては、稀に反りが合ったその時を期に、遠くならない距離感を保つことや、好きだとか嫌いだとかについても、好きになるまでは嫌いにはしないなどの日常の気持は、絆を保つ良い方法です。

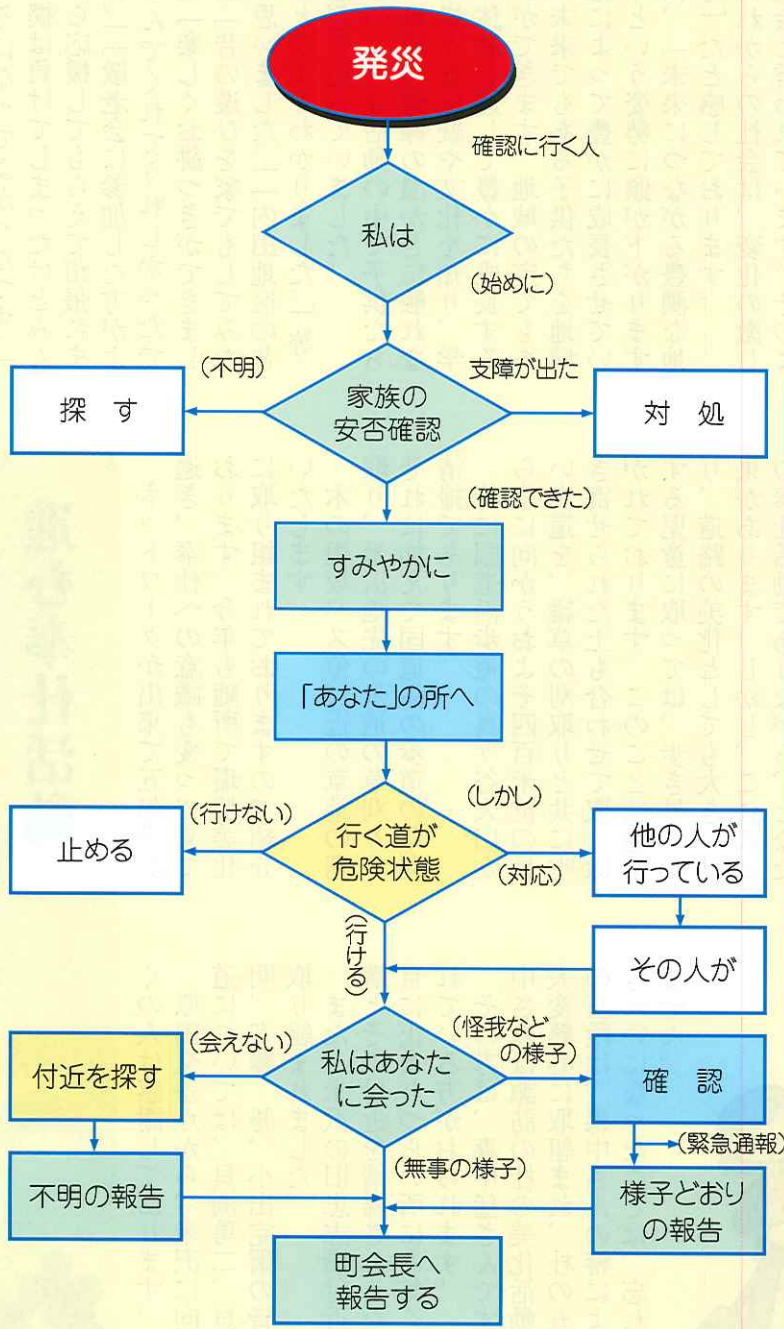
この「向こう三軒両隣(近所)の仕組み」は、人の働きによって成り立つ事業で、お互い様の支え合いを根拠にしており、そう考えれば、取り組み易いものであるとも考えます。



安否確認手順

私=確認する人

あなた=確認を受ける人(75歳以上の独居・日中独居世帯の人)



未来につながる 豊潤な地域力

内田小学校 校長
佐久間義雄



「家庭でしつけ、学校で学び、地域で育つ子供」という言葉を聞いたことがあります。「家庭で生活習慣などをしつけ、学校で幅広く学び、地域で社会体験を通して成長する」というような意味として使われていると思われれます。

「二十一世紀を展望した我が国の教育の在り方について」（中央教育審議会答申）の中で、「子供たちの教育は単に学校だけでなく、学校・家庭・地域社会が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要である」と述べられています。

子供たちの豊かな成長には、家庭・学校・地域の連携が重要です。

このような観点からも、内田小学校区小域福祉ネットワークに参加している各種関係機関・団体の皆様には日頃より、内田小学校に御支援・御協力をいただいております。子供たちが豊かに成長する様々な機会と場を与えていただき学校の教育活動を円滑に進めることができいております。地域の皆様に、御支援・御協力いただいている活動のいくつかを上げると次のようになります。

- ・米沢の森への全校遠足
- ・ザリガニ釣り
- ・見守り活動
- ・挨拶運動
- ・内田地区大運動会
- ・サマースクール



昔の遊び(コマまわし)

- ・内田の夏祭り
- ・諏訪の子相撲
- ・敬老会参加
- ・餅つき体験
- ・昔の遊び

これら活動を行うにあたっては、米沢の森を守る会、小域福祉ネット、学区民会議、学校支援ボランティア、各町会、地域の方々の大きな御支援・御協力をいただいております。

子供たちは、「米沢の森で説明を聞き森のことを知ることができた。」「ザリガニを一緒につかってうれしかった。」「登下校の時に地域の方が見ていて声をかけてくれるので安心です。」「地域の方の応援があったので頑張って走れました。」「地域の先生に教えてもらって分からないところが分かるようになった。」「相撲は負けてしまったけどみんなから応援してもらって頑張りました。」「敬老会に参加した方がよろこんでくれてうれしかったです。」「楽しくお餅つきができました。」「昔の遊びを家でもしてみたいと思います。」「内田地区の昔のことがよくわかりました。」等の感想を述べていました。



餅つき体験

このような活動の中で子供たちは、地域の皆様の温かさに触れながら様々な伝統や文化を知り、学習や体験を通して豊かに成長することが出来ます。地域の宝でもあり、未来でもある子供たちを地域の力によって豊かに成長させていこうという姿勢に頭が下がります。正に、「未来につながる豊潤な地域力」だと感じております。

進む奉仕活動

ネットワーキングが出来て五年半が過ぎ、奉仕への意識も変って来ております。今年も随所で環境美化に取り組みしておりますので紹介いたします。

木の根坂バス停付近の草地の刈取り、米沢地先の歩道の草刈り、それに加えて国道沿の歩道の草刈清掃であります。

特に国道沿歩道の真ヶ谷谷入口から宿に向かうおよそ四百米位の長い歩道を、雑草の刈取りと共に吹き寄せられた土も合わせて取り除かれております。このことは通学する児童に取っては、歩き易くなり、道路の美化としても大きい効果があります。しかし、これほどの奉仕活動でありながら、どなたの働きなのが判りませんが、多くの人は感謝しております。

地区民への見守りとして

一、下校時の見守り

毎週の木曜日の午後、下校する児童の帰り道と一緒に歩いてくれた人達です。

- 関氏 彰、征矢干歳、石塚礼子、丸山梅子、内海 茂、野口 誠、内海 勇、内海敏子、米山 弘、安藤 均、小出完爾の各氏です。

二、独居高齢世帯への訪問見守り

毎月二回の割合で、訪問して、日常の暮らしの様子などについて雑談していただきました。訪問してくれた方々
多賀一郎、鈴木秀三、米山 弘、小出完爾の皆さんです。



下校時の見守りの様子



また、米沢の旧忠志橋付近の側溝とその付近を清掃されるなど、目に止まりづらい所にも気づくばらされている方がおられます。その方は、森中猛さんです。森中さんは諏訪の杜の美化活動にも大変熱心に取組まれ、杜の五〇段の石段は、森中さんの箒によってきれいになったことは、忘れられません。

